

高浜中学校だより

平成 30 年 6 月号 NO.3

大会前は、決勝トーナメント進出が危ぶまれた FIFA ワールドカップの日本チームでした。そして、ベルギーと決勝トーナメントで戦うに当たり、戦前の予想は、世界の大半がベルギーの勝利と分析していました。7月3日未明、2-0で日本がリードすると世界のどれだけの人が予想していたでしょうか。

私は、この大会の予選リーグを見る中で、2つの言葉が心に残りました。一つは、日本チームのみんなが「冷静に」ということを合い言葉に試合に臨んでいることでした。もう一つは、「自分を信じて、仲間を信じて」という言葉でした。

さて、7月7日（土）、8日（日）は、若狭地区の中学校夏季総合競技大会が行われます。3年生にとっては、中学校最後の地区大会になります。そこで、生徒のみなさん一人一人に伝えます。ゲームセットのコールがあるまで、たとえ、リードされていようと自分たちのやってきたプレーを

「冷静に」行ってください。焦らず、落ち込まず、ただ「冷静に」自分たちのプレーを行ってください。また、リードしていても、決して浮き足立たないでください。仮に追いつかれたり逆転されたとしても「冷

静に」「自分と仲間を信じて」最後のホイッスルが鳴るまで力を出し尽くしてください。



7月14日（土）、15日（日）は県の水泳競技大会、7月30日（月）には、吹奏楽部のコンクールが予定されています。また、硬式野球やサッカーのクラブチームに所属しているみなさんも、夏の大会が予定されていると思います。どうか、「冷静に」「自分と仲間を信じて」プレーや演奏を行ってください。そこには、自分にしか感じ得ない「景色」が見えるはずです。そして見る人に「感動」を与えます。悔いのない部活動とはこのようなことを指すのではないかとサッカー日本代表の選手達から学ばせてもらいました。

「きばれー！ 高中生」

高中ブログを始めます

中体連夏の大会結果から「高中ブログ」を立ち上げます。日々の生徒の様子を写真等でご覧ください。

自他の良さや欠点を受け入れる生徒

今回、スクールプランでお示した2つ目について私の思いを伝えさせていただきます。ひと月くらい前、生徒の前で次のようなことを話しました。

「人には誰でも欠点があります。自分でその欠点を嘆いたり嫌ったりしがちですが、口に出さないあなたの友だちもまた、欠点を誰にも言えずに生きているかもしれません。自分の欠点に振り回されて、自分を見失わないでください。周りはみんな欠点を持ちながらも懸命に生きていますよ。でも、自分に欠点があることを棚に上げて、人の欠点をつつかないでください。だれでも欠点をつつかれると悲しいものです。相手に欠点を伝えそれを克服するようアドバイスをすることは時には必要でしょう。でも、自分では欠点と書いていても相手から見ると欠点は長所かもしれません。例えば、『私は、優柔不断でだめだ』と書いていても、人から見れば『あなたは物事をじっくり考える人、また優しい人』に見えることが多々あります。自分の長所はなかなか気付きません。だからこそ声に出して相手にその人の良さを伝えてあげてください。『自他の良さ欠点を受け入れる生徒』には、このような願いを込めています。」

人と人のつながりや絆が希薄になったといわれるこの頃ですが、今一度、温かい人間関係を取り戻したく思います。学校や学級でこのような「自他の良さや欠点を受け入れる生徒」が増えてくれば、いじめも少なくなるでしょう。そして、将来、人を信じて、人に助けられながら、明るく、たくましく生きていってくれと信じています。

和田 d e 路地祭

7月1日(日)「和田 d e 路地祭」が行われました。「地域に貢献できる生徒」の



もと、9名の生徒がボランティアで参加してくれました。ありがとうございます

す。今週、1年生は「お世話になった町内の公共施設の清掃活動」、2年生は「医療・介護に関する学習」、3年生は「町づくりに関する学習」を予定しています。以前この学校だよりに書かせていただいたとおり、単なるボランティア活動から町づくり、人づくりに関する学習を通して社会に参画する生徒を育てるべく、教員も一丸となって学習を行っています。